

科目名	メーキング基礎実習 I			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
担当教員	田坂、嶺脇、築館、井上、東海林			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-4(彫留め技法)			
	内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ		
	メーキング基礎実習 I-5(ロケットペンダント)			
内容	ロケットペンダント カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法			
授業の計画展開	メーキング基礎実習 I-6(宝石研磨)			
	内容	宝石研磨 原石のカボションカット技法を学ぶ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリー コース

科目名	メイキング造形実習 I		授業のねらい
担当教員	田坂、嶺脇、築館、井上、東海林		ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペイションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
対象学年	1年		
必修選択の別	必修		
授業時数	472時間	単位数	
開講期間	2022.4.1～2023.3		到達目標
授業形態	実習		新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、東海林(ジュエリークリエイター)、嶺脇(ジュエリー作家)		
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(WAXリサーチ)		
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス	
	メイキング造形実習 I-2(ブローチ)		
	内容	箱物の制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ	
	メイキング造形実習 I-3(ワイヤーピアス)		
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する	
	メイキング造形実習 I-4(パールジュエリー)		
内容	パールを使用しジュエリーを制作、パールの留め方を学ぶ		
メイキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション)			
内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
メイキング造形実習 I-6(オリジナルストーンリング)			
内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項			
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト		

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリー コース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	嶺脇、黒沢、島崎			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、黒沢(ジュエリーデザイナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-1(CAD造形ペンダント)			
	内容	デジタル演習(アフィニティデザイン/シェイパー3D)		
	デザイン基礎実習 I-2(デザイントレーニング)			
	内容	デザイントレーニング		
	デザイン基礎実習 I-3(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン基礎実習 I-4(企画デザイン)			
	内容	テーマからのデザイン展開		
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I-5(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
	デザイン基礎実習 I-6(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習 I-7(製図の基礎3)			
	内容	dr12サイドメリング/dr13取り巻きリングの構造		
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリー コース

科目名	美術史・情報デザイン概論 I		授業のねらい 国内外の歴史やトレンドを学び、ものづくりをする上での発想や表現の基本となる知識を深める。	
担当教員	島崎・嶺脇・黒沢			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 講義において出題されたテーマについて自身の見解とその根拠をレポートにまとめる。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	美術史・情報デザイン概論 I (講義・レポート作成)			
	内容	国内外の歴史やトレンドからの発想、レポート作成口		
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリー コース

科目名	宝石学 I			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2022.4.1~2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学A-1(宝石の基礎知識) 内容 宝石の基礎知識			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定3級テキスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい 1年次に学んだ石留めの基礎技法に基づき、多種に渡る新たな石留め技法を学ぶ。また七宝技法を学び、宝飾技法の基礎を習得する。	
担当教員	米田、山田、築館、花岡、外山、神崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	160時間	単位数	5単位	到達目標 規定の宝石を美しく石留めし、作品を仕上げる事を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝外山(ジュエリー作家)、神崎(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(七宝ブローチ)			
	内容	カシメ構造による七宝ジュエリーの制作		
	メーキング基礎実習Ⅱ-1(石留め実習)			
	内容	彫り留め(毛彫り留め、ミル留め)、マス留め、パヴェ留め		
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-2(プラチナ石留めペンダント)			
	内容	ファンシーカット石座、Ptペンダントの制作		
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めし、基礎をおさえる事が重要となる			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを学ぶ。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、伝統技法を用いた作品を制作する。
担当教員	米田、山田、築館、花岡、外山、神崎			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	584時間	単位数	17単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝外山(ジュエリー作家)、神崎(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(象嵌ピンブローチ)			
	内容	象嵌によるピンブローチの制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-2(パール、七宝イヤリング)			
	内容	七宝技法、パール玉座の構造、イヤリングの制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-3(打ち出しカフス)			
	内容	打ち出し技法、カフスの制作		
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-4(K18ジュエリー)			
	内容	K18ジュエリーの制作		
	メーキング造形実習Ⅱ-5(シェルカービングジュエリー)			
	内容	カービングリング、カービングしたシェルを用いたジュエリー		
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用する。また市場動向や指定テーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。
担当教員	嶺脇、飯塚、田坂			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	144時間	単位数	4単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			モチーフの捉え方、表現方法を学び、ジュエリーデザインとして完成させることを目標とする。また指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成させることを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝飯塚(ジュエリーブランドオーナー)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン基礎実習Ⅱ-1(共通講義・レポート)			
	内容	学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義		
	デザイン基礎実習Ⅱ-2(ドリル)			
	内容	デザインドリル、図面読解、ハイライトレンダ		
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅱ-6(CAD造形①)			
	内容	ライノセラスによるCADデータ作成		
履修上の注意事項	指定のテーマに対する表現を数多く展開することが重要である。多くの展開から最適なデザインを選択し完成させる			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ			授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。
担当教員	嶺脇、飯塚、田坂			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	104時間	単位数	3単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーデザインを完成させる。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝飯塚(ジュエリーブランドオーナー)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(テーマに基づいたジュエリーデザイン①) 内容 展示会のためのジュエリーデザイン デザイン造形実習Ⅱ-2(テーマに基づいたジュエリーデザイン②) 内容 ブランドリサーチからのジュエリーデザイン デザイン造形実習Ⅱ-3(テーマに基づいたジュエリーデザイン③) 内容 宝石鑑定からのジュエリーデザイン			
履修上の注意事項	指定テーマ及び市場調査から得た情報を各自が深く洞察し、自身の表現を探求することが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	コンピューター演習Ⅱ		授業のねらい 1年次に習得したCADソフト「ライノセラス」の基本操作の復習とより独自性のあるジュエリーデザインへの応用を目指す。	
担当教員	本多			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 CADソフト「ライノセラス」による独自性のあるリングデータの作成
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	コンピューター実習Ⅱ-1(CAD造形) 内容 ライノセラスによるCADデータ作成			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	宝石学A-2			授業のねらい ダイヤモンドの特性や品質に関する知識を学ぶ。また、ダイヤモンドの鑑定実習を通し鑑定の流れ、グレーディングレポートの見方を学ぶ。
担当教員	森			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標 ダイヤモンドの品質を見分け、簡易的な鑑定ができることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学A-2(ダイヤモンド鑑定実習) 内容 宝石の基礎知識、ダイヤモンド講義・実習			
履修上の注意事項	ダイヤモンドの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次までに習得した伝統技法を発展させ、さらに多様な金属加工及び彫刻を学ぶ。また、指定テーマにおける表現の可能性を探求する。
担当教員	米田、築館、森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	744時間	単位数	23単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			新たな金属加工技術を習得し、指定のテーマにおける独自性のある作品を完成させる事を目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(フィリグリー、グラニュレーションペンダント) 内容 フィリグリー、グラニュレーション、ピアス、ペンダントトップの制作 メーキング造形実習Ⅲ-2(洋彫り七宝ペンダント、ブローチ) 内容 洋彫り、七宝技法、ペンダント、ブローチの制作 メーキング造形実習Ⅲ-3(テーマに基づいたジュエリー) 内容 テーマに基づいたK18ジュエリーの制作 メーキング造形実習Ⅲ-4(七宝ジュエリー) 内容 七宝ジュエリーの制作 メーキング造形実習Ⅲ-5(ストーンカービングジュエリー①) 内容 カービング、オリジナルカービングジュエリーの制作 メーキング造形実習Ⅲ-6(ストーンカービングジュエリー②) 内容 カービング、オリジナルカービングジュエリーの制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。また、完成作品の効果的なプレゼンテーション方法を習得する。
担当教員	花岡、土屋、本多			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	3単位	到達目標 各自設定したコンセプトに基づき、ジュエリーデザインを完成させる。また自身をプロモーションする為のポートフォリオを完成させる。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝土屋(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(テーマに基づいたジュエリーデザイン) 内容 展示会のためのジュエリーデザイン デザイン造形実習Ⅲ-2(ポートフォリオ) 内容 ポートフォリオ デザイン造形実習Ⅲ-3(CAD造形) 内容 CADによるリングデザイン			
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	ビジネス講義および実習Ⅲ			授業のねらい 市場調査を通し、時代性、社会問題、人々のニーズを掴む。調査結果を分析し、各自の洞察からの提案を発展させ、素材研究を試行しながら、現代に留まらず、未来の社会における新たな表現の可能性を探求する。また自身の提案の効果的な伝達方法を探求する。
担当教員	花岡、土屋			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	124時間	単位数	4単位	到達目標 調査結果、各自の洞察からの展開に基づき、社会に紐付いた市場性かつ独自性のある提案を行い、他者への効果的な伝達を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝土屋(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	ビジネス講義及び実習Ⅲ-1(リフォーム) 内容 リフォームデザイン ビジネス講義及び実習Ⅲ-2(共通講義・レポート) 内容 学生と社会と繋ぐ共通言語を育む講義 ビジネス講義及び実習Ⅲ-3(プレゼンテーション) 内容 テーマに基づいたプレゼンテーション			
履修上の注意事項	市場調査、素材研究から多くの可能性を見出すこと。多角的な洞察を行い、市場性かつ独自性のある提案に取り組む姿勢が重要となる			
評価方法	1.課題作品:調査力、分析力、展開力、造形力、伝達力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリーコーディネーター検定2、3級テキスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	宝石学B		授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。	
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	44時間	単位数	1単位	到達目標 各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	宝石学Ⅲ(カラーストーン) 内容 カラーストーンの品質、特性についての講義			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率を履修基準とする			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース アドバンスドジュエリー専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅳ			授業のねらい 3年次までに習得した伝統技法を発展させ、指定のテーマにおける自己表現の可能性を探求する。また、宝石研磨技術を習得し独自性のある作品を目指す。
担当教員	山田、米田、森			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	448時間	単位数	14単位	到達目標 指定のテーマにおける独自性のある作品を完成させる事を目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅳ-1(テーマに基づいたジュエリー) 内容 素材、技法リサーチからのジュエリー制作 メーキング造形実習Ⅳ-2(オリジナルカットストーンジュエリー) 内容 オリジナル石のジュエリー			
履修上の注意事項	習得した技法をいかし、各自の研究テーマを設定し、深い探求を通して独自性を生み出すことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース アドバンスドジュエリー専攻

科目名	卒業制作			授業のねらい 4年次前課題までに習得した技術力と造形力の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。
担当教員	山田、米田、森			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	360時間	単位数	11単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることが目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	卒業制作 内容 コレクションジュエリーの制作			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは4年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し、独自性のある作品を制作することが重要である			
評価方法	1.課題作品:造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース アドバンスドジュエリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅳ			授業のねらい 指定のテーマに基づき、自身の作品コンセプトを設定する。表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる。
担当教員	田坂、齋藤、飯塚			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	216時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			設定した作品コンセプトに基づき、実作可能なジュエリーデザインを完成させる。また卒業制作を効果的にプレゼンテーションする事を目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、飯塚(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅳ-1(宝石知識とデザイン①)			
	内容	宝石知識講義、ジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-2(テーマからのデザイン)			
	内容	テーマに基づいたジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-3(卒業制作)			
	内容	卒業制作のデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-4(宝石知識とデザイン②)			
	内容	宝石知識講義、ジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-5(テーマからのプレゼンテーション)			
	内容	テーマからのプレゼンテーション		
デザイン造形実習Ⅳ-6(テーマに基づいた企画)				
内容	テーマに基づいたジュエリー提案			
デザイン造形実習Ⅳ-6(卒業制作プレゼンテーション)				
内容	卒業制作プレゼンテーション			
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	メイキング基礎実習Ⅳ			授業のねらい 海外からの講師を招聘し、短期間で海外の研究における多様な方法を学習する。
担当教員	嶺脇、齋藤、飯塚、酒匂、安井			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	80時間	単位数	2単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			海外作家・デザイナーの考え方や価値観を体験しながらリサーチを進め、制作した成果物を確実に仕上げ、更にプレゼンテーションまでを目標とする。
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、飯塚(ジュエリーブランドオーナー)、嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅳ-1(ブック制作)			
	内容	自身の起源と傾向を探るためのブック制作		
授業の計画展開	メイキング基礎実習Ⅳ-2(ワークショップ)			
	内容	地域と伝統 インタビュー リサーチ		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	メイキング造形実習Ⅳ			授業のねらい 様々なリサーチ方法を学習し、事象を深く見つけることで新たな自己の表現を見つけるまでのプロセスを習得する。
担当教員	嶺脇、齋藤、飯塚、酒匂、安井			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	526時間	単位数	16単位	到達目標
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			深くリサーチを進めていながら、新たな自己の表現を見つけ、確実に作品に仕上げることを目標とする。
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、飯塚(ジュエリーブランドオーナー)、嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅳ-1(リサーチ)			
	内容	昨年制作した卒業制作作品(またはそれに準じる作品)を展開する		
	メイキング造形実習Ⅳ-2(地域貢献イベント)			
	内容	社会的背景をリサーチし、そこから作品制作を行う		
	メイキング造形実習Ⅳ-3～6(クリエイティブ・アイデンティティ)			
内容	国内外からアーティスト、デザイナーを招いて行う特別授業			
メイキング造形実習Ⅳ-7～10(プレゼンテーション)				
内容	作品をより効果的に見せるためのプレゼンテーションスキルを包括的に学習する			
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	卒業制作		授業のねらい 4年次でに習得したリサーチ方法と社会へのアプローチ方法の集大成として、卒業制作における研究成果の表現の可能性を探求する。	
担当教員	嶺脇、齋藤、飯塚、酒匂、安井			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	352時間	単位数	11単位	到達目標 自身の明確な制作テーマに対して的確な技術技法や知識知恵を選択し、制作の計画を着実に実行し、集大成としての作品に仕上げることを目標とする。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝齋藤(現代美術作家)、飯塚(ジュエリーブランドオーナー)、嶺脇(ジュエリー作家)			
卒業制作	卒業制作			
授業の計画展開	内容 INSTで学習したリサーチを元に集大成として、卒業制作展に出品する作品を制作する			
履修上の注意事項	卒業制作テーマは4年次前課題までの作品に反映された研究テーマを各自整理し、独自性のある作品を制作することが重要である			
評価方法	1.課題作品:造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	ギャラリー実習		授業のねらい キュレーションの基本的な知識・ノウハウを学びながら、実際に企画を立て、企画展を実行するまでの一連の流れを学習する。	
担当教員	嶺脇			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	34時間	単位数	1単位	到達目標 外部アーティストや企業にアポイントを取りながらスケジュールを組み立て企画展を開催することを目標とする。また、企画展の売り上げ目標を設け、到達を目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	ギャラリー実習 内容 展覧会の企画立案から実行までグループワークで行う			
履修上の注意事項				
評価方法	企画と実施等の内容と出席による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	コミュニケーション実習		授業のねらい 海外の人々に自己の作品説明ができるように、英会話の基本的なリスニングとスピーキングを学習する。また、実際の海外コンペティション要項を基に応募に必要な基本的な単語や熟語、慣用句を学習する。	
担当教員	酒匂、安井			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標 自己の作品を端的に英語で説明できることを目標とする。また、海外コンペティションに応募できるまでの英語理解力を目指す。
開講期間	2022.4.1～2023.3			
授業形態	実習			
教員紹介				
授業の計画展開	英語授業			
	内容	英語による作品プレゼンテーションの習得		
履修上の注意事項				
評価方法	提出レポート等の内容と出席による総合評価			
テキスト	なし			
参考文献	海外コンペティション応募要項各種			